

損傷筋に対する運動療法が筋神経系の生存維持および再生機構の活性化に及ぼす影響

著者	灰田 信英
著者別表示	Haida Nobuhide
雑誌名	平成16(2004)年度 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究概要
巻	2003 2004
ページ	2p.
発行年	2016-04-21
URL	http://doi.org/10.24517/00063191



損傷筋に対する運動療法が筋神経系の生存維持および再生機構の活性化に及ぼす影響

Research Project

All



Project/Area Number

15500359

Research Category

Grant-in-Aid for Scientific Research (C)

Allocation Type

Single-year Grants

Section

一般

Research Field

Rehabilitation science/Welfare engineering

Research Institution

Kanazawa University

Principal Investigator

灰田 信英 金沢大学, 医学部, 教授 (00135089)

Co-Investigator(Kenkyū-buntansha)

山崎 俊明 金沢大学, 医学部, 助手 (00220319)

Project Period (FY)

2003 - 2004

Project Status

Completed (Fiscal Year 2003)

Budget Amount *help

¥1,500,000 (Direct Cost: ¥1,500,000)

Fiscal Year 2003: ¥1,500,000 (Direct Cost: ¥1,500,000)

Keywords

免疫組織化学的検索 / 損傷筋

Research Abstract

ラットを用い、下腿腓腹筋外側頭に0.5%塩酸プロピバカイン0.5mlを注入し、筋細胞を壊死に陥らせ、その後、塩酸プロピバカインの注入したラットに運動負荷を加え再生筋繊維の状態を免疫組織化学的検索を行った。

筋形成に中心的な役割を演じているMyoD、筋細胞の再生に手がかりを与えられるラミニンやタイプIVコラーゲンに対する抗体を用意し、各因子が再生の時期にどのように発現するのか運動によりこれらが再生機構を活性化するか否かを比較検討する段階であり、顕微鏡デジタルカメラを使用し、評価を行う途中であり、その標本作成があった。

Report (1 results)

2003 Annual Research Report

URL: <https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-15500359/>

Published: 2003-03-31 Modified: 2016-04-21